

## 2001年度第2回 長期計画企画拡大会議 議事記録

日時：2001年(平成13年)6月6日(水) 15:30～16:25

場所：L-911

出席者：計 68名

欠席者：計 10名

配布資料：

(1)2001年度第1回 長期計画企画拡大会議 議事記録

会議資料(プロジェクト投影)：

(1)長期計画企画拡大会議専門部会 委員名簿

### 議 事

[審議事項]

#### 1. 長期計画について

理事長から、以下のことについて説明があり、その後質疑応答が行われた。

##### (1)グランド・レイアウトの性格について

グランド・レイアウトはこれから検討を進めるに際しての基本的方向・姿勢、そして検討項目の大枠を示したものであり、具体的な内容については、設置される各検討専門委員会において今後検討、審議されることになる。

最終成案は3部構成となっている。

1)7つの基本的方向・姿勢

2)グランド・レイアウト本体

設置される9つの検討専門委員会において、約50の検討項目(テーマ)について優先順位と短・中・長期の区別を明確化する

3)推進体制に関わる事項

基本的方向・姿勢にもあるように、「組織、構成員参加型手法」を用いて、すべての人が関わりを持てるように進めていく。

##### (2)提出された意見、要望、提案の今後の取り扱いについて

これまでに150件、延べ200人の方から、貴重なご意見を頂戴した。これらの意見等は、検討専門委員会の検討、審議の過程で十分に活用されることになる。現在、事務局において、各検討専門委員会の検討テーマごとに仕分けしている最中である。

また、自己点検・自己評価、文部科学省視察における意見、大学基準協会の相互評価、学部等からの答申、などについても、同じく活用していきたい。

##### (3)審議過程の公開と意見聴取について

拡大会議や専門委員会での審議の過程については、学院広報、大学通信、大学公式ホームページ、大学掲示板などを通じて公開していく。また、途中で意見を求める機会を作る予定である。

## (質疑応答)

Q. 「卒業生」という言葉が、「収入源の安定的確保」のところにしか出てこない。卒業生として、大学には生涯教育などを通じて、卒業生との関わりを持ち続ける施策を行ってほしいと希望する。

A. 生涯教育検討専門委員会において、十分に検討してもらおう。

Q. 学外の専門家を短期的にでもスタッフとして迎える予定はあるか。

A. 大学としての基本的な考えを、まず自分たちで決めることが大事である。ただし、検討専門委員会での審議の過程において、専門家の意見を聞く必要が出てきたときには、委員長の判断や審議状況を踏まえた上で、外部の専門家の協力を仰ぐことも考えられる。また、今後設置される「ソフィア アドバイザリー コミッティー」も十分に活用していきたい。

Q. 1つのモデルを想定するなどして、基本方針をもっとわかりやすく表現できないだろうか。

A. いろいろな方法があると思うが、各委員会には、宙に浮いた議論にならないようお願いしたいと考える。

Q. 長期計画企画拡大会議は、毎月第1水曜日に必ず行われるのか。大学評議会のあとに開催するという方法もあると思う。

A. 前回示した開催案は、後期分に関しては会議室の予約が取れ、その日程で開催してはどうかという案を示したものである。開催日程・方法については、今後検討し、決定する。

## 2. 長期計画企画拡大会議専門部会の委員任命について

理事長及び学長から、資料に基づき、専門部会の職責委員以外の委員及び特別委員が発表され、承認された。

また、以下の補足説明があった。

- 委員の選出には、積極的に意見等を提出していただいた方を中心に、学部学科のバランスも合わせて考慮した。
- 委員会を進めるにあたって、全員が一同に会するのは難しいかもしれないが、委員長に進め方を工夫してもらおう。
- 各委員会の下にワーキンググループを作ることも検討に値する。
- 各委員会の進行状況を踏まえて、各委員長間の調整会議を開催することもある。
- 通常の会議体・委員会で対応が可能な課題については、会議体や各部署において取り扱うようにする。すべてを長期計画の方に委ねることがないようにしてもらいたい。
- 「ソフィア アドバイザリー コミッティー」については、構成を検討中である。

以上